

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	競技スポーツ・健康づくりの推進				予算施策コード	ky14	
担当部局名	教育委員会	管理部	保健体育課	評価責任者	課長 吉田 良二	連絡先	4935

1 施策の内容

施策の目標	学校教育において、児童生徒に競技スポーツの魅力や健康づくりに関する基礎知識を理解させるとともに、体力向上、健康増進のための指導体制の確立と教職員の指導力の向上を図る。
これまでの取組み	<p>○児童生徒の成長過程において、それまでの活動の成果を試す場であるスポーツ大会(高校総体、中学校総体、小学校記録会等)の開催を推進し、各種スポーツの振興を図っている。</p> <p>○平成18年度から、幼児、児童がクラスやグループ単位で様々な運動に楽しく挑戦し、その結果をホームページ上でリアルタイムに競い合う「えひめ子どもスポーツITスタジアム」を実施し、運動の楽しさや喜びを味わい、スポーツへの参加意欲の高揚を図っており、運動する習慣を身に付けさせることにより、健康の増進を推進している。</p> <p>○中学校及び高等学校等の運動部活動の活性化を図り、経験豊かな地域のスポーツ指導者を、希望する学校に派遣し、専門的な技術指導を行っているほか、スポーツ医科学関係者と連携し、より高度な運動部活動指導体制の在り方について調査研究を行った。</p> <p>○子どもの体力向上を図るため、各学校の実態に応じた具体的方策を提案するとともに、体育・スポーツの専門家を活用して指導者の資質向上を図るなど、子どもの体力向上に向けた取組を推進している。</p>

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	中学校、高等学校の総合体育大会への参加校の割合	B	小学校の通信記録会への参加校の割合								
選択理由	各学校が総合体育大会に向けた取組を充実させることにより、運動部活動の活性化を図り、競技スポーツを振興する。	選択理由	各学校が大会に向けた取組を充実させることにより、児童期の運動習慣を養い、健康づくりの基礎を身に付けさせる。								
算定方法	大会への参加校数/全学校数 (市町立及び県立学校を対象とする)	算定方法	大会への参加校数/全学校数 (市町立学校を対象とする)								
成果と指標の関係	中	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	中	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%			%			千円					
元年度	100	100	100.0%	100	100	100.0%	52,361	11,036	24,861	16,464		14,975
2年度	100	0		100	100	100.0%	100,892	27,203	41,615	32,074	45,970	52,100
3年度	100	100	100.0%	100	100	100.0%	105,840	14,771	49,998	41,071	74,591	43,560
4年度 目標値	100			100			100,228	14,164	35,000	51,064		
最終目標	100			100								

4年度当初予算

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	競技スポーツ・健康づくりを推進させるためには、学校教育活動の中で運動の日常化を図るとともに、運動部活動の充実を図ることが重要であることから、県の関与の必要性が高い。				
高い							
成果指標A		説明	従来、中学校、高等学校の総合体育大会への参加割合は高い。 現在の状態を継続させるための取組の充実を図るとともに、今後、一層の運動部活動の活性化を図る。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	従来、小学校の通信記録会への参加割合は高い。 現在の状態を継続させるための取組の充実や、今後、一層の小学校における運動の日常化を図る。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.58	順調・向上	成果向上余地	2.00	大幅な成果向上が可能	

今後予測される環境変化	少子化の影響により、特に団体競技においては、各種スポーツ大会等への参加が困難になることが見込まれる。個々が生涯にわたってスポーツや健康づくりに取り組むための資質を養う必要がある。
-------------	---

3 施策の今後の方向性

<p>子どもの頃から運動習慣を身に付けることは、生涯に渡ってスポーツに親しみ、健康を保持・増進することにつながり、更に中学校・高等学校等において充実した運動部活動に取り組むことは、健康づくりに加え、競技力の向上にもつながる。</p> <p>このようなことから、小・中学校、高等学校におけるスポーツ活動等を一層充実させることが重要であり、財源の重点配分を行う必要がある。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名		ky14	競技スポーツ・健康づくりの推進					
1	えひめ子どもスポーツITスタジアム事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	5成果向上している	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
	指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	1,253	1,252	1,252	1,252	評価 コロナの影響でチャレンジ部門は3蜜を避けられない場合があるので、今後も、感染症対策を十分に講じながら取り組むことができるポイント獲得部門に焦点を当てて取り組むなど、各学校、工夫を凝らした実践をするよう指導にあたりたい。	見直し方向性			
	成果	+	70-	参加学校数の全学校数に対する割合	%	実績	99	94	国費									
						達成率	99.00%	94.00%	その他									
	指標種類2	指標名称2	単位	計画	283	283	283	283	県費	1,253	1,252	1,252	1,252					
	活動	+	70-	参加学校数	校	実績	278	264	事業費計	1,223	1,222	1,187						
						達成率	98.23%	93.29%	国費									
	指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他									
						実績			県費	1,223	1,222	1,187						
						達成率	-	-	人役	0.3	0.3	0.3						
					達成率	-	-	人件費	2,042	2,030	1,815							
実施期間	初期	終期	事業の概要															
	H18	予定・見込があれば記入	インターネット上で運動の回数等を競い合う「えひめ子どもスポーツITスタジアム」を開設し、学校の計画する教育活動において、年間通じて記録に挑戦する中で、運動の楽しさ等を味わいながら体力の向上を図るとともにスポーツへの参加意欲の高揚を図る。															
2	令和4年度全国高校総体開催準備費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
	指標種類1	指標名称1	単位	計画		20	20	-	事業費計	0	6,499	23,476	32,372	評価 新型コロナウイルスの影響を受け、一部準備で軌道修正を余儀なくされる場面もあったが、会場地市や関係機関等との定期的な連絡調整に努め、概ね当初計画どおりの事業進捗に至った。	見直し方向性			
	成果	+	ストック	準備各分野の各種方針・要項、計画等の策定数	件	実績		14	21	国費								
						達成率	-	70.00%	105.00%	その他								
	指標種類2	指標名称2	単位	計画		68	8	8	県費		6,499	23,476	32,372					
	活動	+	ストック	学校単位での高校生活動の実施校数	件	実績		58		事業費計	0	5,017	22,955					
						達成率	-	-	85.29%	国費								
	指標種類3	指標名称3	単位	計画		2	2	-	その他									
						実績		0	2	県費		5,017	22,955					
						達成率	-	0.00%	100.00%	人役		5.0	5.0					
					達成率	-	-	100.00%	人件費		33,830	30,250						
実施期間	初期	終期	事業の概要															
	R2	予定・見込があれば記入	令和4年度に四国ブロックで開催する全国高校総体の本県8競技種目大会の円滑な運営を行うため、大会関係者等で組織する県実行(準備)委員会を設置し、準備各分野の計画的な進捗に努めるとともに、競技実施に必要な審判員の養成に取り組む。															
3	中学生競技力向上対策事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
	指標種類1	指標名称1	単位	計画	40	40	40	50	50	事業費計	24,861	41,615	49,998	35,000	評価 コロナ禍でも県外遠征や県外交流が許可されていたトップレベル事業により、多くの中学生の強化を実施することができた。四国ブロックのインターハイの開催も近づき、さらに事業の重要性が高まると見られる。	見直し方向性		
	成果	+	70-	全国高校総体入賞者数	件	実績	35	0	58	国費								
						達成率	87.50%	0.00%	145.00%	その他	24,861	41,615	49,998	35,000				
	指標種類2	指標名称2	単位	計画	420	785	1,000	2,500	-	県費								
	活動	+	70-	高校生の県外遠征、招待試合への延べ参加人数	人	実績	420	785	3,246	事業費計	19,992	15,506	28,276					
						達成率	100.00%	100.00%	324.60%	国費								
	指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他	19,992	15,506	28,276						
						実績			県費									
						達成率	-	-	-	人役	0.3	0.3	0.3					
					達成率	-	-	-	人件費	2,042	2,030	1,815						
実施期間	初期	終期	事業の概要															
	H19	予定・見込があれば記入	えひめ国体の成果を継承し、中高生を対象に県外遠征や強化合宿の強化事業を実施し、更なる競技力向上を図るための事業を展開する必要がある。															

4 部活動改革推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			単位	計画	15	15	15	15	—	事業費計	12,646	15,053	18,403	20,260	評価			部活動指導員の配置人数、指導時間の拡充を図り、部活動指導員と顧問がお互いに補完しあえる体制づくりを目指していくことで、部活動における教員の負担軽減と生徒の活動意欲の向上及び技能の向上につながる事が期待できる。各学校からの人数増員希望も出ており、今後も必要とされる事業である。
成果	70-	国が実施する部活動顧問教員の調査対象期間中における総指導時間数の平均	時間	実績	13	0	15			予算	国費	4,830	6,075	9,305	10,915				
			達成率	115.38%	—	100.00%			その他										
			指標種類2	指標名称2			単位	計画	48	54	54	54	—	事業費計	0				
活動	+	70-	部活動指導員の配置人数	人	実績	42	54	54			決算	国費		4,538	5,393				
					達成率	87.50%	100.00%	100.00%			その他								
指標種類3	指標名称3			単位	計画						事業費計			6,950	6,573				
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.3	0.3	0.3						
	H30	予定・見込があれば記入	単独での指導、引率が可能な競技の高度な専門家である部活動指導員を学校に配置することにより、教員の負担軽減はもとより、生徒の活動意欲や技能を向上させ、えひめ国体を契機としたジュニア世代の競技力の維持、向上を図る。							人件費	2,042	2,030	1,815						

5 学校体育指導力向上事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり		
指標種類1	指標名称1			単位	計画	128	128	128	126	—	事業費計	6,206	5,494	5,466	3,249	評価			新型コロナウイルス感染症の影響で、Webで開催した。今後は、リモートでの開催など研修方法の工夫を行っていきたい。	
成果	+	70-	武道・ダンス等指導研修会の参加者数	人	実績	128	0	128			予算	国費	6,206	5,494	5,466					3,249
					達成率	100.00%	0.00%	100.00%			その他									
					指標種類2	指標名称2			単位	計画	50	50	50	50	—					事業費計
成果	+	70-	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本県小学5年生・中学2年生の割合	%	実績	24	0	49.85			決算	国費	3,295	2,562	2,962					
					達成率	48.00%	0.00%	99.70%			その他									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	2	2	2	2	—	事業費計									
活動	+	70-	学校体育指導力向上委員会の開催回数	回	実績	2	2	2			人役	0.7	0.7	0.7						
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			人件費	4,765	4,737	4,235						
実施 期間	初期	終期	事業の概要																	
	H21	予定・見込があれば記入	本事業により、武道・ダンスの授業の充実とともに、子どもの運動・スポーツに対する意欲や関心の向上を図る。																	

6 スポーツ大会活動推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり		
指標種類1	指標名称1			単位	計画	46,580	46,000	46,000	46,000	—	事業費計	7,395	7,345	7,245	8,095	評価				
成果	+	70-	大会参加児童生徒数	人	実績	44,450	11,500	33,279			予算	国費								
					達成率	95.43%	25.00%	72.35%			その他									
					指標種類2	指標名称2			単位	計画	8	8	8	9	—					事業費計
活動	+	70-	大会開催数	回	実績	8	2	9			決算	国費								
					達成率	100.00%	25.00%	112.50%			その他									
指標種類3	指標名称3			単位	計画						事業費計			7,245						
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.6	0.6	0.6							
	H19	予定・見込があれば記入	県下の小・中・高校のアスリートが目標としている県高校総体、県中学校総体及び県小学校記録会等の各種スポーツ大会の充実を図るための経費である。							人件費	4,084	4,060	3,630							